

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

未来の子供たちのために、最先端のメタボローム解析技術とバイオ技術を活用した研究開発により、人々の健康で豊かな暮らしに貢献する

連結売上高
16億円

連結営業利益
3億円

2 中長期の経営戦略

1. バイオものづくり支援サービス（BMS…

2025年7月より提供開始。飛躍的な市場拡大が見込まれるバイオものづくり分野での生産性向上支援サービスを拡販・拡張。実証実験で成果確認済み。

3. 新規事業創造

次期中期経営計画での成長加速に向けて新規事業開発を推進。組織としての新規事業創出能力向上に注力。

2. 既存事業の安定成長

ライフサイエンス研究支援サービス（LSS）と機能性素材開発支援サービス（FDS）への需要拡大に対応。新サービス導入により市場拡大と同等以上の成長を目指す。

4. 生産性向上による収益性改善

鶴岡本社での解析業務において、生産管理システム導入・ロボット導入・AI解析活用など多面的な生産性改善を推進。

3 対処すべき課題

① 企業分野での売上成長

- ・ バイオものづくり支援サービス（BMS）の早期立ち上げと拡販
- ・ 既存事業（LSS＋FDS）の安定成長と新サービス導入
- ・ 新規事業創造への取り組み

② 生産性向上と収益性改善

- ・ 生産管理システムのデジタル化推進
- ・ ロボット導入による自動化、AI解析による省人化
- ・ 業務の見える化と効率改善

③ リスク管理と従業員成長

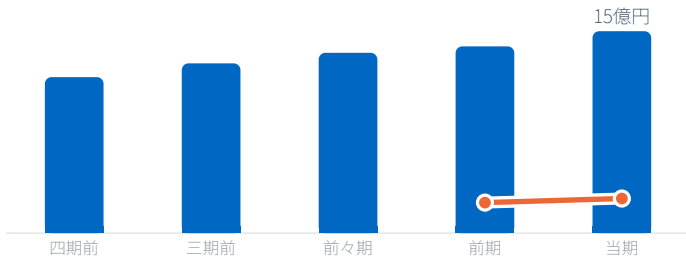
- ・ リスク管理委員会による全社横断的なリスク評価と対策
- ・ 情報セキュリティリスクへの継続的対応強化
- ・ 従業員のチャレンジと成長できる環境整備

面接で使えるポイント

- ・ メタボローム解析技術を基軸にしたヘルスケア・ソリューション・プロバイダーを目指し…
- ・ ライフサイエンス業界は少子高齢化下でも成長分野。LSS・FDS・BMS3本柱で企業価値向上に貢献
- ・ 12期連続増収達成。鶴岡本社でのロボット・AI活用による生産性改善で、市場拡大以上の成長を目指す

証券コード 6090

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高 15億円	営業利益率 17.1%	財務健康度 86点 / 100点
---------------	----------------	---------------------

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 50.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
673万円

サービス業内 153位/524社

平均年齢
39.2歳

サービス業内 238位/527社

平均勤続
9.7年

サービス業内 152位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

慶應義塾大学発のベンチャー企業として2003年に設立された

主力事業・セグメント

- ・ ResearchsupportA 78.6%
- ・ ヘルスケアAnalysis 21.4%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 営業利益率17.1%と高い収益性
- ・ 財務健康度86点と財務基盤が健全
- ・ 将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)【6090】:

